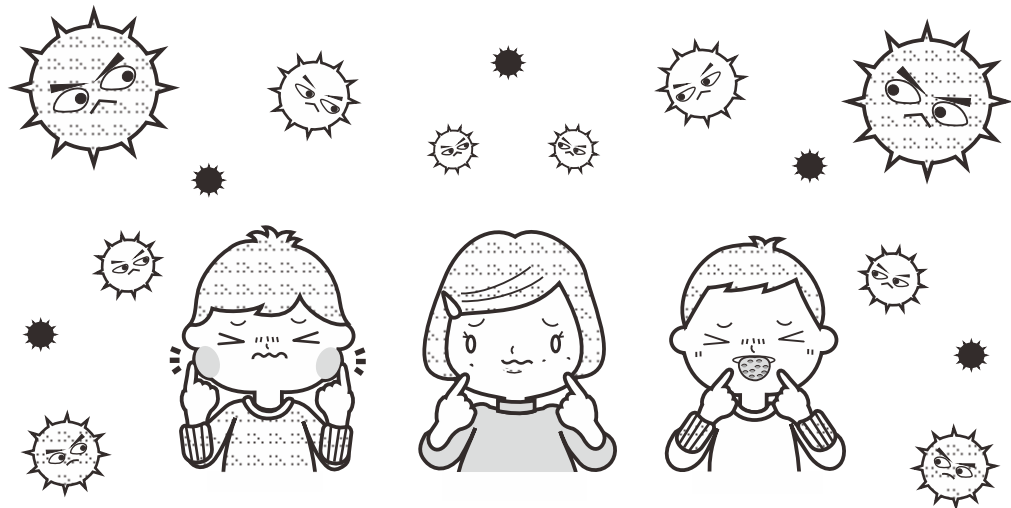


子どもの病気①



宣言

明るい
笑顔

すぐ
返事

伝える
元気

かちどき薬品 ホームページ
げんき君 健康に関する情報がいっぱい
<http://www.genki1616.co.jp>

かちどき薬品グループ



かちどき薬局のブログ
ameblo.jp/kachidoki-blog



Seedling 2019 2月号

溶連菌感染症

溶血性連鎖球菌(溶連菌)と呼ばれる細菌が喉に感染することで発症する病気の総称です。

感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染や手などを介して口の中に入る接触感染です。

【主な症状】

- ・発熱(38~39℃)
- ・唾を飲み込むのも困難なほどの喉の痛み
- ・赤く細かい発疹(体や手足)
- ・イチゴ舌(舌に赤いブツブツが現れる)

【その他】

頭痛、腹痛、リンパ節の腫れ など



【治療方法】

検査により、溶連菌に感染していることが判明すれば、抗菌薬が処方されます。また、熱や喉の痛みを和らげる薬も処方されます。

抗菌薬を飲み始めて3~4日で症状は治まり、回復に向かいます。再発や合併症を起こさないために、処方された抗菌薬の量や回数を守って、薬がなくなるまで服用することが大切です。

【予防接種について】

ワクチンなし

溶連菌には様々な種類が存在するので、一度かかっても何度も感染することがあります。

【合併症】

・急性糸球体腎炎

尿量の低下、顔のむくみが出てきます。高血圧のために頭痛を訴えることもあります。

・リウマチ熱

心炎、関節炎、小舞蹈病と呼ばれる不随意運動、皮膚に周囲が赤くなる円形の発疹や皮膚の下に小さなこぶができるなどの症状が組み合わさり発症します。

抗菌薬を飲み切ったあと、発症から2～3週間後に必ずもう一度診察を受けましょう。尿検査などを行い、合併症が発症していないかのチェックをします。

【家庭でのケア】

・安静にする

・喉に刺激を与えるものは避ける

ゼリー・プリン・バナナ・アイスクリーム・おかゆ・豆腐・茶碗蒸しなど、喉越しよく消化がよいものを摂る

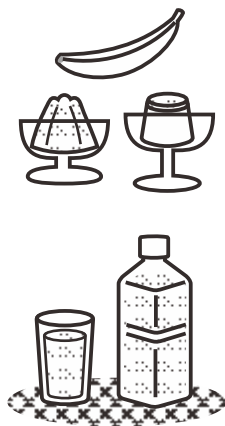
・脱水予防のために水分を摂る

白湯・麦茶・経口補水液・牛乳・豆乳などをこまめに補給する

・家族への感染に注意する

【登園・登校について】

目安は、抗菌薬内服後24～48時間以上経過していることです。熱が下がり、喉の痛みがない状態であれば、登園・登校が可能です。



すいとう 水痘(みずぼうそう)

水痘・带状疱疹ウイルスの感染によって体中に湿疹が出る病気です。感染力がとても強く、空気感染や飛沫感染で感染を拡げます。一度感染すると終生免疫を得られます。



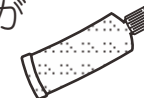
【主な症状】

・発疹(かゆみを伴うことが多い)
赤い丘疹(隆起した小さなブツブツ)⇒水疱
⇒膿疱(膿がたまった発疹)⇒痂皮(かさぶた)
が順を追って全身に現れます。数日にわたり新しい発疹が現れ、それぞれの段階の発疹が混在します。頭皮にできることが特徴です。

【その他】初期に現れることがあります
だるさ、食欲低下、軽い発熱(37℃前後)

【治療方法】

発疹にはかゆみを抑える塗り薬や飲み薬が処方され、重症化のリスクがある場合、抗ウイルス薬が処方されます。



抗ウイルス薬は、発疹が現れてから速やかに服用すると効果的で、症状の軽減が期待できます。

【予防接種について】

水痘ワクチン(生ワクチン):定期予防接種の対象

接種年齢:1歳以上3歳未満

接種間隔・回数:3ヶ月以上あけて2回

<目安>1回目:1歳～1歳3ヶ月

2回目:1歳6ヶ月～3歳



～水痘～

【合併症】

・二次性細菌感染

発疹に細菌が感染し、とびひ様になることもあります。

・肺炎、肝炎

・無菌性髄膜炎

ひどい頭痛や嘔吐を引き起こします。重篤な後遺症は残りませんが、このような症状が現れた場合は、すぐに病院を受診しましょう。

・小脳失調

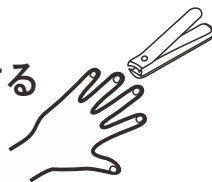
けいれん、意識障害、歩行障害などが現れます。予後は良好です。

健康な子どもにはあまり見られませんが、まれに上記の合併症を発症することもありますので注意が必要です。

【家庭でのケア】

・爪を短く切り、水疱をかきつぶさないようにする

かきつぶすと感染を広げたり跡が残ってしまう



・かゆみが我慢できないときは冷やす

どうしてもかゆいときには、冷たいタオルやタオルに保冷剤を包んだもので冷やす

・お風呂はシャワーで済ませる

身体があたたまると、かゆみが増すので湯船には浸からない

・食事は刺激が少ないものを

口中にも水疱が現れている場合は、おかゆ・柔らかいうどん・玉子豆腐・プリン・アイスクリームなど、喉越しのよいものを摂る

【登園・登校について】

目安は、全部の発疹がかさぶたになっていることです。医師の許可が出てから、登園・登校が可能です。

おたふく風邪(流行性耳下腺炎)

ムンプスウイルスの感染により耳の下の辺りが腫れるのが特徴の感染症です。感染力は強く、感染経路は飛沫感染や接触感染です。一度感染すると終生免疫を得られます。

【主な症状】

- ・唾液腺(耳の下の耳下腺、舌の下の舌下腺、顎の下の顎下腺)の腫れと痛み
- ・発熱(38～39℃)

【その他】

頭痛、倦怠感、食欲低下 など



【治療方法】

対症療法のみで、熱や痛みに対して解熱鎮痛剤が処方されます。

基本は、自宅で安静に過ごし、自然に回復するのを待ちます。

【予防接種について】

おたふく風邪(生ワクチン):任意予防接種の対象

接種年齢:1歳以上

接種間隔・回数:1回目の数年後に2回目

<目安>1回目:1歳

2回目:5歳(小学校入学前)



～おたふく風邪～

【合併症】

- ・無菌性髄膜炎
- ・難聴

多くは一側性で日常生活に支障をきたしませんが、治療はなく治癒しない場合が多いです。

- ・精巣炎、卵巣炎、脳炎

【家庭でのケア】

- ・飲み込みやすいものを摂る

噛まずに食べられるゼリー飲料・プリン・ヨーグルトなどを摂る



- ・頬の腫れは冷やす

腫れて痛む場合は、保冷剤・氷のうなどを使って冷やす

- ・無理な入浴は避ける

機嫌が悪い時は清拭で済ませる
熱が少しある場合は、シャワーで軽く済ませ、湯冷めに気を付ける

- ・脱水に気を付ける

白湯・麦茶・経口補水液など飲みやすいもので水分を補給したり、牛乳・豆乳で栄養を補う
野菜ジュースやフルーツジュースは、酸味が唾液腺を刺激し頬の痛みに関与するので避ける

【登園・登校について】

目安は、頬の腫れや痛みが始まった後、5日を経過し、かつ全身状態が良好なことです。

医師の許可が出てから登園・登校が可能です。

家庭で取り組める感染予防

手洗いとうがいを正しく行って、感染を防ぎましょう！

○手洗い

手指に付いたウイルスの除去には、流水・石けんを使って手を洗うのが効果的です。

<p>1</p> <p>指輪や時計などは外します</p>	<p>2</p> <p>流水で手を洗います</p>	<p>3</p> <p>石けんをつけてしっかり泡立てます</p>
<p>4</p> <p>手のひら、甲をこすり、指の間は、指を組んでこすり合わせて洗います</p>	<p>5</p> <p>親指は、反対の手でねじるようにして洗います</p>	<p>6</p> <p>泡で爪の間をよく洗う 指先、爪の間は手のひらの上で指先をこするように洗います</p>
<p>7</p> <p>手首は、反対の手でねじるように洗います</p>	<p>8</p> <p>流水で石けん汚れをよく洗い流します</p>	<p>9</p> <p>ペーパータオルなどを使用しタオルの共有は避ける 清潔なタオルで水気をよく拭き取ります</p>

○うがい

喉の粘膜についたウイルスを洗い流す効果があります。時間は15秒を目安に、2回行います。

- ①ブクブクうがいをし、口の中をきれいにします。
 - ②上を向いて喉の奥を洗うガラガラうがいをします。
- ※ガラガラうがいできない子どもはブクブクうがいだけでもOK

